

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 8 月 15 日 (2013.8.15)

【公開番号】特開 2012-34253 (P2012-34253A)

【公開日】平成 24 年 2 月 16 日 (2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2012-007

【出願番号】特願 2010-173247 (P2010-173247)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

G 0 8 B 25/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D

G 0 8 B 25/00 5 1 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 1 日 (2013.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

監視対象物を含む監視領域を撮像した画像を取得する撮像部と、
前記撮像部が順次取得した入力画像を処理し、警報信号を生成する画像信号処理部と、
前記警報信号を出力する出力部と、
前記監視領域の管理者の識別情報を登録識別情報として予め記憶する記憶部と
を備え、
前記画像信号処理部は、
前記入力画像から人物像を抽出して追跡し、当該人物像の位置情報を出力する追跡手段と
、
前記入力画像から人物の識別情報を抽出して前記人物像と対応づける対応付け手段と、
前記識別情報を前記登録識別情報と照合して、前記各人物像が前記管理者か否かを認証する
認証手段と、
前記人物像のいずれもが前記管理者でないと前記人物像の追跡結果に応じて警報信号を前
記出力部に出力させ、前記人物像に少なくとも一の前記管理者が含まれていると前記出力
部に警報信号の出力を禁止させる制御手段
を有することを特徴とした画像監視装置。

【請求項 2】

前記記憶部は、画像上における前記監視対象物の至近領域を更に記憶し、
前記制御手段は、前記人物像の位置が前記至近領域外から前記至近領域内に変化すると、
前記出力部に前記管理者へ警報信号を出力させることを特徴とした請求項 1 に記載の画像
監視装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記人物像の位置が前記至近領域内に継続的に含まれると、前記出力部
に少なくとも外部へ警報信号を出力させることを特徴とした請求項 1 または請求項 2 のい
ずれか 1 つに記載の画像監視装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記至近領域内に前記管理者の人物像と前記管理者でない人物像とが所

定時間継続して位置していると、前記出力部に警報信号の出力の禁止を解除させることを特徴とした請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 つに記載の画像監視装置。

【請求項 5】

前記識別情報が顔画像であり、前記認証手段が入力画像から抽出した顔画像を予め記憶した登録顔画像と照合することを特徴とした請求項 1 に記載の画像監視装置。